

いよいよ2020年には 団塊世代が後期高齢者に突入… 介護離職が企業経営を おびやかす時代が**到来!**

納入実績
10,000部
以上

急増を続ける要介護者

令和元年9月に厚生労働省が発表した「平成29年度介護保険事業状況報告」では、介護保険の第一号被保険者(65歳以上の人)の数は対前年度で約47万人増の3488万人。そのうち、75歳以上が初めて1700万人を突破。第一号被保険者のうちの要介護(要支援含む)認定者数は対前年度で約9万人増えて641万人となりました。

いよいよ2020年には、出生時点で800万人ものぼったという団塊世代が後期高齢者層に突入。急速に要介護認定者が増えて行くことが予測されています。

働きながら介護する人は 346万人

政府は2020年代初頭までの介護離職ゼロを掲げて施設整備などを進めて来ましたが、2017年の同調査によれば介護離職が1年間に9万9,000人に上ることが分かり、前回2012年調査の10万1,100人に比べ減っておらず、深刻な状況が続いています。

NTT東日本グループで4000人近い社員が現在も介護を抱えながら仕事をしているとのニュースが世間を騒がせたのは、既に2013年のこと。今後5年以内に介護が必要となる可能性があると答えた人が1万8000人近くもいました。

介護を担う人々は 企業の中核人材

介護の主な担い手である40歳代から60歳代は、その多くが企業等において上位管理職に就いており、役割や責任を大きく負い、各部門の中核人材として企業を支える立場にいます。そうした人材が介護離職ともなると代替が利きにくく、進行中のプロジェクトの成否や事業運営の遂行などにも直接的に関わってきます。

しかも半数以上が介護開始から1年以内に、うち3割程度が半年以内に離職しており、限られた時間内での代替要員の確保は容易ではありません。介護離職という選択をさせないための、早めの対策が重要となる所以です。

**介護離職は今や企業の経営リスク。
その抑止は、重要なBCPであり喫緊の企業防衛策です。**

そこでご案内するのが 現役ビジネスマンのための**介護ハンドブック**です。

介護という事態に直面したとき、「まず何から取りかかればいいのか」。会社への介護休暇申請以外で、家族がしなければいけないことの全体像をわかりやすく紹介。あわてて離職しなくて済むためのノウハウ満載の必携ツールです。必ず役に立つ日が来ます。それは、「明日」かもしれません。

CONTENTS

～介護のためにライフプランを変えなくてはならないこともある～

第1章 家族が要介護になってしまったら

- 介護を知る第一歩は適切な情報収集から始めよう
- 介護保険申請から要介護認定までの流れを知ろう
- 介護の度合いは7段階に分類される

第2章 介護生活のポイント

- ケアマネージャーは介護サービスのコーディネーター
- こんなケアマネージャーにお願いしよう

第3章 介護サービスには契約が必要

- 要介護度に応じてサービスを選ぶ
- ニーズに合ったサービスを探す
- 生活支援の福祉用具が必要な場合は福祉サービスを利用しよう

第4章 介護サービスの費用

- 住む地域や所得により利用者負担額は変わる
- かかる費用の目安
- 民間の介護施設は待機問題も少なく自由度が高い

Column 支える家族への支援策もあります

第5章 介護生活が必要になる前にやること

- 介護が必要になる原因は「けが」「病気」「高齢化」
- 「けが」予防に適した住宅リフォームのポイント
- 別居の親とのコミュニケーションに気を配ろう
- 高齢家族の「病気」予防は早期発見と服薬管理が重要

Column 親が元気なうちに聞いておきたいこと



仕様
A5判/オールカラー/28ページ
価格 ※送料別途実費
最低ロット300部 [単価450円(税別)]
● 部数の多い場合は割引価格にてご提供
● 御社名ロゴの名入れサービスつき
● 電子ブック版もあります [1 ID300円(税別)]

介護ハンドブックに関するお問い合わせはこちらまで



AMUTAS株式会社
http://www.amutas.co.jp

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-1-10 TEL TEL(03) 3264-6831 (代)

〒540-0024 大阪市中央区南新町2-2-10 TEL TEL(06) 6946-5700 (代)

お問い合わせ専用アドレス **contact@amutas.co.jp**